

2020年8月7日
 千代田化工建設株式会社
 IR・広報・CSR部

2021年3月期第1四半期決算説明会(電話会議)質疑応答要旨 (2020年8月6日開催)

2020年8月6日に開催致しました2021年3月期第1四半期決算説明会(電話会議)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

	質問	回答
1	新型コロナウイルス感染症拡大の業務への影響はどうか。	<p>工事中断などの重大な影響はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 設計業務:テレワークで対応している。 - 調達業務:世界的なサプライチェーンの断絶により、調達品の製作や輸送の遅れなど、納期、コストに影響が出ている案件がある。 - 建設業務:現場のワーカーの動員に制約を受けている案件がある。 <p>いずれの案件もEPC契約のフォースマジュール(不可抗力)条項の枠組みに沿って、工期とスケジュールについて顧客と協議を継続している。引き続き、安全・安心を最優先し、対応策を講じて、手持案件を慎重に遂行していく。</p>
2	主要遂行中案件の状況はどうか。	<p>中断または大幅遅延となっている案件はない。</p> <p>◆タンゲーLNG ワーカーの動員体制を見直し、建設工事を遂行中。</p> <p>◆テキサスエチレン 中国ヤードでのモジュールの製作、米国向け出航ともほぼ予定通りに進捗している。</p> <p>◆ゴールドパス LNG 海外子会社の設計業務で新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少し生じたが、顧客とスケジュールとコストの調整を進めている。工事は順調に進んでいる。</p>
3	第1四半期の完成工事総利益率について	<p>米国 LNG 案件で損益改善が寄与した一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対するリスク額を織り込んでおり、この結果として、完成工事総利益率は 12.6%になっている。</p>
4	カタール LNG 拡張案件の状況はどうか。	<p>顧客から年内に発注先を決定する予定と説明を受けている。本年9月に価格入札が予定されている。顧客のスケジュール感に沿って受注を目指したい。</p>

	質問	回答
		サウジとの国交断絶の影響については十分留意して遂行計画を策定していく。
5	業績予想の完成工事高と完成工事総利益率の水準について	完成工事高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかの既存案件で工事の進捗が遅れていることや、新規案件で着工スケジュールが後ろ倒しになっているものがあること等を織り込み、保守的な金額としている。完成工事総利益率は9-10%と目標としている。第二四半期以降で特別な損益は見込んでいない。
6	地球環境ビジネスでは今後どういう分野を伸ばしていくのか。	地球環境ビジネスでは、グリーンエネルギー及び医薬・ライフサイエンスを伸ばしていく。医薬・ライフサイエンスでは、低分子医薬から中、高分子医薬やバイオ医薬に技術が進化していることに伴い、医薬プラントの建設もより高い技術を求められており、確りと応えていきたい。

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。